

# 日医ニュース

2024. 12. 5 No. 1516

日本医師会  
Japan Medical Association  
〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16  
電話 03-3946-2121(代)  
FAX 03-3946-6295  
E-mail www.info@po.med.or.jp  
https://www.med.or.jp/  
毎月2回 5日・20日発行 定価 2,400円/年(郵税共)



トピックス

- 医療問題Q&A ..... 2面
- 秋の叙勲・褒章受章者 ..... 4面
- 第31回日本臨床分科医会代表者会議 ..... 6面

## 令和6年度都道府県医師会組織強化担当役員連絡協議会

# 更なる組織強化を目指して、4県医師会の取り組みなどを共有



令和6年度都道府県医師会組織強化担当役員連絡協議会を10月31日、WEB会議併用により日本医師会館小講堂で開催した。当日は組織強化に向けて先進的な取り組みを行っている4県医師会からの活動報告の他、活発な意見交換が行われた。

### 会長あいさつ

城守国斗常任理事の司会で開会。冒頭あいさつした松本吉郎会長は、日本医師会会員数調査において、本年7月末に会員数が17万7000名を突破したことを報告し、組織強化への協力を謝意を示した上で、「組織強化に向けた取り組みは一過性のものではなく、常に重要課題として捉え、継続的に行っていくべきものと強調。医師会が『全ての医師を代表する組織』として、よりプレゼンスや発言力を高めつつ、国民の生命と健康を

### 角田副会長による説明

続いて、角田副会長が「さらなる医師会組織強化に向けて」と題して、(1) 医師会の果たすべ

点をみならず、「組織自体の質」を高めるという側面もあるとして、「会費減免期間に入会された先生方へ減免期間終了後も医師会員として定着していく中で、医師会活動への理解とコミットメントを育んでいくという視点が重要」との考えを示し、一層の理解と協力を呼び掛けた。

声や踏まえた医療政策を実現するためには、より多くの医師に医師会活動に参画してもらうことが、医師会の組織強化と発言力の強化につながることを強調した。

(2) では、組織強化には「会員数の増加」と「質の向上」の二つの視点が重要と指摘。それぞれが相乗効果を発揮することで医師会のプレゼンスが高まると指摘。「そのためには、まずは医師会に入会してもらい、医師会活動の意義や重要性、医師会への存在意義に対する理解を深め、いろいろな経験を積んでもらうことが重要」と述べた。

(3) では、日本医師会として、入会促進等にに向けた目標や会員定着に向けた課題解決の実現に向けたため、医師会会員情報システム(MAMIS)の導入や日本医師会役員が各病院等に直接働き掛けるなど、多くの取り組みを行っていることを紹介するとともに、「現状を把握・共有し、体制づくりの検討を行った上で、効果を検証する」というPDCAサイクルの必要性を強調した。

最後に角田副会長は、国民の生命と健康を守り、医師の医療活動を支えるという役割を果たしていくためには、「会員数と組織率の増加・上昇傾向を維持・継続していくことが必要」と指摘し、

①会費減免期間延長の周知と入会促進②臨床研修医への対応③来年度の臨床研修医への対応——に関する引き続きの協力を呼び掛けた。

**活動報告**

次に、埼玉、三重、岡山、福岡の各県医師会からの活動報告が行われた。

桃木茂埼玉県医師会常任理事は、組織強化に向けては、(1) 入会を増やす、(2) 退会を減らす、(3) 組織力の向上——が必要と強調。令和5年度の活動として、加入率の低い病院などに対して積極的な呼び掛けを行った他、都市医師会会長会議に笹本洋一常任理事を招き、組織強化について解説してもらったことを報告するとともに、研修医に対しては、研修病院セミナーや医学生、研修医等をサポートするための会も実施していることを紹介した。

今後については、①新しく研修医になった先生へ積極的にアプローチする②区分変更が必要になる初期研修終了時や会費減免対象の期間終了時の退会を減らす③研修医以外の非会員に対しても働き掛ける——ことを考えていると説明した。

田中淳子三重県医師会理事は、医師会入会を困難にしている要因として、(1) 会費の妥当性、

点のみならず、「組織自体の質」を高めるという側面もあるとして、「会費減免期間に入会された先生方へ減免期間終了後も医師会員として定着していく中で、医師会活動への理解とコミットメントを育んでいくという視点が重要」との考えを示し、一層の理解と協力を呼び掛けた。

最後に角田副会長は、国民の生命と健康を守り、医師の医療活動を支えるという役割を果たしていくためには、「会員数と組織率の増加・上昇傾向を維持・継続していくことが必要」と指摘し、

①会費減免期間延長の周知と入会促進②臨床研修医への対応③来年度の臨床研修医への対応——に関する引き続きの協力を呼び掛けた。

次に、埼玉、三重、岡山、福岡の各県医師会からの活動報告が行われた。

桃木茂埼玉県医師会常任理事は、組織強化に向けては、(1) 入会を増やす、(2) 退会を減らす、(3) 組織力の向上——が必要と強調。令和5年度の活動として、加入率の低い病院などに対して積極的な呼び掛けを行った他、都市医師会会長会議に笹本洋一常任理事を招き、組織強化について解説してもらったことを報告するとともに、研修医に対しては、研修病院セミナーや医学生、研修医等をサポートするための会も実施していることを紹介した。

今後については、①新しく研修医になった先生へ積極的にアプローチする②区分変更が必要になる初期研修終了時や会費減免対象の期間終了時の退会を減らす③研修医以外の非会員に対しても働き掛ける——ことを考えていると説明した。

田中淳子三重県医師会理事は、医師会入会を困難にしている要因として、(1) 会費の妥当性、

最後に松本会長は、4県医師会からの活動報告のポイントを振り返った上で、「今回頂戴したご意見等も参考にしながら、更なる組織強化に向けて取り組んで頂きたい」と発言し、閉会となった。

## 御礼 —令和6年9月能登半島豪雨への支援—

日本医師会が協力を呼び掛けていた令和6年9月能登半島豪雨への支援に対して、総額1億3,982万6,930円もの支援金をお寄せ頂きました。深く感謝申し上げます。支援金は被災地域の医療提供体制の復旧復興に向けて、石川県医師会に寄付させていただきます。

# 医療問題



## Q 来年に日本医師会会長として特に注力する取り組みについて教えてください。



松本会長

## A

2025年に特に注力する取り組みとしては、大きく5点あります。

### 令和8年度の診療報酬改定への対応

まず1点目は「令和8年度の診療報酬改定への対応」です。

令和6年度の診療報酬改定では、医療従事者の賃上げの必要性を粘り強く主張したこともあり、プラス0・88%のプラス改定となりましたが、物価高騰等を考慮すると、十分な財源とは言えません。

また、これから日本は未曾有の超高齢・人口減少社会を迎え、生産年齢人口が急激に減少することにより、医療界においても支え手の減少に直面することが懸念されます。こうした状況下にお

上げもままならない状況です。

現在の医療機関の経営状況では、これ以上の賃上げは到底不可能であり、このままでは人手不足に拍車がかかってしまい、国民に適切な医療を提供できなくなってしまう。

### 参議院議員選挙

2点目は「参議院議員選挙」です。

日本医師連盟に関する話になってしまいがちですが、来夏に予定されている「参議院議員選挙」において、日本医師連盟は比例代表の自民党公認候補者として、釜淵副会長を擁立することを決定しました。

釜淵副会長は、5期10年にわたって日本医師会の常任理事として、看護職の養成や新型コロナウイルス感染症対応など、多岐にわたる業務を担当し、医師会業務に精通しておられるばかりでなく、日本医師連盟も担当しており、政治に対する

欠です。

石破茂内閣総理大臣は「物価に負けない賃上げ」を実施するとされていますが、日本医師会として

改定で新設されたベースアップ評価料の届出・算定をできるだけ多くの医療機関に実施して頂けるよう取り組んでおり、このままでは人手不足に拍車がかかってしまい、国民に適切な医療を提供できなくなってしまう。

### 組織強化

3点目は「組織強化」です。

日本医師会の組織強化は、私が日本医師会会長に就任して以来、力を入れて取り組んで参りました。全国の医師会の先生方の格段のご尽力もあり、本年7月末には、初めて会員数が17万7000名を突破し、17万7170名となりました。ご協力頂いた先生方には深く感謝しております。

### かかりつけ医機能が発揮される制度の施行に向けた取り組み

4点目は「かかりつけ医機能が発揮される制度の施行に向けた取り組み」です。

来年4月より「かかりつけ医機能報告制度」が施行され、地域における面としてのかかりつけ医機能の更なる発揮に向けた取り組みが始まりますが、その中で医師会にはさまざまなことが求められてくると考えています。

### 医師の偏在対策

5点目は「医師の偏在対策」です。

医師偏在には、一つの手段で解決するような「魔法の杖」は存在せず、さまざまな手段を駆使して複合的に対応する必要があります。

また、今後、未曾有の超高齢・人口減少社会を迎える中、将来の医療を担う若手医師の声を傾聴していくことも重要にな

あります。

医師会がこうした使命を果たし続けていくには、更なる会員数の増加、組織率の向上を始めとする組織強化を通じて、対外的にも医師会のプレゼンスを一段と高めていくことが重要であるため、引き続き取り組んで参ります。

も求められるでしょう。これまでも日本医師会では「日本医師会生涯教育制度」や「日医かかりつけ医機能研修制度」など、医師の先生方に対して多岐にわたる研修の機会を提供して参りました。「国民の生命と健康を守る」という医師の使命を果たすに当たり、全国の先生方に医学・医療に関する学びの機会を提供することは、日本医師会の責務だと考えており、引き続き研修の充実等に向けて取り組んで参ります。

### その他

この他にも、「自由診療の適切な運用」「医薬品の安定供給」「医師の働き方改革への対応」「2040年頃を見据えた新たな地域医療構想の検討」「一般社団法人立医療機関に対する非営利性の徹底」など、医療界にはさまざまな課題が山積しております。

日本医師会は今後もこれらの課題解決に向けて引き続き取り組んで参りますので、これまでと同様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

## デジタル医師資格証とは？

日本医師会が発行するスマホで使える電子版の医師資格証です。

デジタル医師資格証は、医師資格証（HPKIカードまたはセカンド電子証明書）をお持ちの方がご利用になれるアプリです。

医師資格証をまだ申請されていない方は、是非お申し込みください。

### 【デジタル医師資格証でできること】

- ・全国医師会研修管理システムで管理している講習会受講履歴と学習単位の表示
- ・電子処方箋発行のためのQRコード読取※お使いの電子処方箋システムがカードレス署名に対応している場合
- ・偽造防止策を施した医師資格証の券面情報の表示 など

医師資格証申込

検索





令和6年

秋の叙勲・褒章受章者

江澤常任理事が藍綬褒章を受章

政府は、このたび、令和6年秋の褒章受章者並びに生存者叙勲・賜杯受章者を発表しました。

日本医師会員受章者は次のとおり。

※敬称略

◎瑞宝中綬章

浦田士郎(元愛知県厚生農業協同組合連合会安城更生病院長)

丸谷建治(宮城県・元国立病院機構山形病院院長)

中村耕三(東京都・元国立障害者リハビリテーションセンター総長)

西田正人(茨城県・元国立病院機構霞ヶ浦医療センター院長)

福原 毅(大阪府・元ヘルランド総合病院院長)

三浦一章(青森県・元八戸市立市民病院院長)

和田裕一(宮城県・元国立病院機構仙台医療センター院長)

長田幸夫(宮崎大学名誉教授)

下條文武(元新潟大学名誉教授)

関根一郎(長崎大学名誉教授)

高須信行(琉球大学名誉教授)

塚本泰司(元札幌医科大学名誉教授)

小玉弘之(元秋田県医師会会長)

廣岡孝雄(元奈良県医師会会長)

◎瑞宝小綬章

福田 稠(熊本県医師会会長)

大園清信(元鹿児島県議会議員)

川端正義(元徳島県議会議員)

川名隆司(宮城県・元宮崎市医師会病院院長)

坂巻 壽(元東京都立駒込病院院長)

杉田 裕(群馬県・元埼玉県立循環器・呼吸器病センター病院院長)

近森正幸(高知県・元近森病院院長)

鼻 卓夫(鹿児島県・元今給黎総合病院院長)

宮里善次(沖縄県・元中頭病院院長)

小林慎雄(東京女子医科大学名誉教授)

富永俊彦(元徳島県医師会理事)

長柄 均(福岡県・元福岡市医師会会長)

西尾好司(岐阜県・元土岐市医師会副会長)

仁科盛之(山形県・元米沢市医師会理事)

藤政篤志(山口県・元玖珂市医師会会長)

◎瑞宝双光章

伊藤 仁(広島県・学校医)

上村伸一郎(東京都・元青峰会くじら病院院長)

内野孝子(東京都・学校医)

築田不二雄(東京都・学校医)

大戸武久(山梨県・学校医)

金井 輝(千葉県・元東条メンタルホスピタル院長)

白川敏夫(広島県・元安芸地区医師会会長)

関本幹雄(埼玉県・元川越市医師会会長)

津森孝生(大阪府・元河内医師会会長)

東保裕の介(大分県・元臼杵市医師会会長)

長柄 均(福岡県・元福岡市医師会会長)

西尾好司(岐阜県・元土岐市医師会副会長)

仁科盛之(山形県・元米沢市医師会理事)

藤政篤志(山口県・元玖珂市医師会会長)

奥村良二(福井県・元坂井市医師会会長)

◎瑞宝单光章

服部礼子(埼玉県・学校医)

原 捷平(群馬県・元学校医)

堀 宏郎(新潟県・元学校医)

藤本明子(香川県・学校医)

松元 俊(熊本県・元東京通信病院眼科部長)

峯 一彦(元宮崎県立日南病院院長)

前川暢男(宮城県・学校医)

松岡伸二(兵庫県・学校医)

田中敬子(鳥取県・介護老人保健施設「まゆづ」施設長)

前川 滋(岩手県・元自衛隊医療協力者)

岩坪 威(東京大学教授)

酒井 敬(大阪府・介護老人保健施設「吹田徳洲苑」管理者)

田中敬子(鳥取県・介護老人保健施設「まゆづ」施設長)

酒井 敬(大阪府・介護老人保健施設「吹田徳洲苑」管理者)

田中敬子(鳥取県・介護老人保健施設「まゆづ」施設長)

◎藍綬褒章

川島秀雄(茨城県・学校医)

菅 大三(愛媛県・学校医)

北原敏行(静岡県・学校医)

木村泰雄(神奈川県・学校医)

酒井健太郎(茨城県・学校医)

三原武彦(三重県・元学校医)

宮田昭男(愛知県・学校医)

守口孝和(秋田県・学校医)

矢野幹夫(愛媛県・学校医)

山田篤伸(福岡県・学校医)

岡田 孝(埼玉県・自衛隊医療協力者)

小林欣也(新潟県警察嘱託医)

佐藤泰平(群馬県警察嘱託医)

江澤和彦(岡山県・日本医師会常任理事)

草薨博昭(東京都・三郷市医師会会長)

◎紫綬褒章

酒井 敬(大阪府・介護老人保健施設「吹田徳洲苑」管理者)

田中敬子(鳥取県・介護老人保健施設「まゆづ」施設長)

前川 滋(岩手県・元自衛隊医療協力者)

岩坪 威(東京大学教授)

酒井 敬(大阪府・介護老人保健施設「吹田徳洲苑」管理者)

田中敬子(鳥取県・介護老人保健施設「まゆづ」施設長)

前川 滋(岩手県・元自衛隊医療協力者)

岩坪 威(東京大学教授)

酒井 敬(大阪府・介護老人保健施設「吹田徳洲苑」管理者)

田中敬子(鳥取県・介護老人保健施設「まゆづ」施設長)

前川 滋(岩手県・元自衛隊医療協力者)

岩坪 威(東京大学教授)

酒井 敬(大阪府・介護老人保健施設「吹田徳洲苑」管理者)

田中敬子(鳥取県・介護老人保健施設「まゆづ」施設長)

前川 滋(岩手県・元自衛隊医療協力者)

◎お願い

受章者名の掲載には細心の注意を払っておりますが、万一、お気付きの点がありましたら、日本医師会広報課までお知らせ下さい。

資源高や円安により、輸入品の価格が上がることで生じるインフレです。ウクライナ情勢やガザ紛争に伴う原油高や円安が、ガソリンや電気代の高騰を引き起こしています。

現在のインフレは主にコスト・プッシュ型要因によるもので、私達が支払ったお金が海外に流れ、日本の経済に還元されない構造となっています。

このようなインフレは日本の医療機関にも大きな影響を与えています。

医療機関では診療報酬が2年間固定で設定されており、2年間は物価が上がっても収入には変化がありません。既にギリギリの経営をしている医療機関にとって、コスト

1. デイマンド・プル型インフレ(良いインフレ) 需要が増え、モノやサ

2. コスト・プッシュ型インフレ(悪いインフレ) インフレ(悪いインフレ)

日医総研だより

物価高騰と医療機関運営

物価の上昇が止まらないう状況が続いています。物価を示す指標はいくつかありますが、多く使われるのは「コアCPI」です。これは、消費者物価から生鮮食料品を除いて計算される指標です。生鮮食料品を除くのは、天候などによる一時的な価格変動でインフレ

が起きているように見えます。2010年代のコアCPIはほぼプラスマイナス0%の範囲内で推移していましたが、2022年頃から急激に上昇を始めた。これは、コロナ禍初期に需要が減少し物価が下

資源高や円安により、輸入品の価格が上がることで生じるインフレです。ウクライナ情勢やガザ紛争に伴う原油高や円安が、ガソリンや電気代の高騰を引き起こしています。

1973年のオイルショック時、2年ごとの診療報酬改定の間に「期中改定」を行い、物価高に対応しました。現在の中東の情勢も、当時と非常に似通ってきています。

現在のインフレは主にコスト・プッシュ型要因によるもので、私達が支払ったお金が海外に流れ、日本の経済に還元されない構造となっています。

この診療報酬改定は2026年6月で、あと1年半も先です。1年半も現在の収入のままだと、多くの医療機関の運営は今以上に極めて厳しい状況になります。

医療機関では診療報酬が2年間固定で設定されており、2年間は物価が上がっても収入には変化がありません。既にギリギリの経営をしている医療機関にとって、コスト

日本医師会は医療機関の現状を打開するために補正予算における補助金の大幅増による支援を要請していますが、今後の状況によっては期中改定も必要と考えます。

1. デイマンド・プル型インフレ(良いインフレ) 需要が増え、モノやサ

(日医総研副所長 原祐一)

2. コスト・プッシュ型インフレ(悪いインフレ) インフレ(悪いインフレ)

原祐一



日本医師会LINE公式アカウントを友だち登録してみよう!

ご自身のLINEアカウントをお持ちでない方は、LINEアプリをインストールの上、アカウントの作成が必要になります。LINEアカウントの作成方法はLINE公式サイト(https://guide.line.me/ja/signup-and-migration/line-signup.html)をご確認下さい。



「LINE公式サイト: 使い方ガイド」

日本医師会LINE公式アカウントは、下記二次元コードを読み込んで頂くか、LINEホーム画面の「検索」から「@324vigsd」とご入力頂くと登録できます。



「日本医師会LINE公式アカウント登録」

日本医師会LINE公式アカウントでは、登録者の方に、講習会や研修会などのご案内や医療情報等を提供しています。ぜひご登録をお願いいたします。

# 南から北から

徳島県  
徳島県医師会報  
NO.638より

## 一人娘マル

美馬 紀章



名前 マル  
犬種 トイプードル 雌  
趣味 ボール遊び  
好物 肉全般、魚、蟹も大好きです。ドッグフードはいいや食べます。  
7年前、当時小学5年生だった次男が「犬が飼いたい」と言い出し、後日何となくふらっと立ち寄ったペットショップに彼女はいました。ショーケースの中で既に数カ月が経っており若干ディスカウントされていたことを覚えていました。ペットショップ店員は決定権のある家族と一緒に来ている客を見ると、すぐさま「抱っこしてみませんか」と誘いを掛けてきて、気が付いたら息子の腕の中に抱かれていました。そのなると息子はメロメロに。豊み掛けるように小学生の子と「連れて帰ってよ」と誘いの言葉を連発……。私も家内も大好きだったので、次男にきちんと世話をすることを条件に連れて帰ることにしたのが始まりでした。案の定、マルの世話をしたのは最初だけで、そのうち家内が世

話のほとんどを行うようになったのは皆さんの想像どおりかと思えます。芸はお手、おかわり、タッチ、伏せ、待て、ゴロンは覚えていますが、知らない人には全く愛敬を振りまくことはなく、知っている人にしか尻尾を振ることをしません。宅配のお兄さんには毎回吠えてしまっているところもありますが、番犬としてはある一定の役割を果たしてくれています。今まで実家や祖母の家で飼われていたポメラニアン、コーギー、シーズーと比べると格段に頭が良い印象を受けます。トイプードルは可愛さだけではなく犬の中でもトップ3に入るくらい頭が良い犬種だそうです。加えて、毛も抜けませんので大変飼いやすいです。初めて飼う方にはお薦めで、人気があるのもうなずけます。

犬のくせに冬はヒーターの前から離れず、冬の寒い時期には同じ布団に入って寝ており、寒さにめっぽう弱いお嬢様です。散歩もあまり好きではないようで、自転車が近くを通るだけでびくびりする始末。ドッグランで大型犬はもちろん、同じ小型犬にも恐る恐るにおいを嗅ぎにくく怖がりさんですが、猫と鳩にはやたらと強気に出る面もあります。非常に奇麗好きで、汚れているペットシートでは用を足そうとせず、シートを替えてくれと要求してきますし、散歩中におしっこをする時はアスファルトの上では流れて脚に付いてしまふのが嫌なようで、決まって土の吸収の良い所を選んで用を足します。

次男が学校の課題で短歌を作ることとなり「しきなみ子供短歌コンクール」でマルについて詠んだ短歌「愛犬のマルのカットは美容院 僕のカットは家でバリカン」とサラリーマン川柳かと思うような内容で提出したものが、思いもよらず入選してしまいました。入選した短歌は全校生徒の前で校長によって朗読され、次男は恥ずかしい思いをしたそうです。

犬は家の中の序列を把握していると言われますが、普段の行動を見ていると彼女は下から2番目で、次男よりは上の位にいるようです。最初に飼いたいと言った言い出しっぺが序列最下位という皮肉な結果になっています。

そんなマルですが、もう7歳となり犬の中ではシニア犬になる年になりました。若干白内障がありそうで水晶体がうっすら白くなってきたいます。今、この文章を書いている私の足元で丸まって寝ている姿を見ていると本当に癒されます。家に帰ると尻尾を振って玄関まで迎えに出てくれ、抱っこしてくれとせがま

福井県  
福井県医師会だより  
第753号より

## ライザップ

小久保安朗



肥満を患った人が体重を減らすためにライザップに通うと、最低30万円くらい必要で、細かく指導を受ける場合、更に追加で何十万円か必要だと、通った人に聞いたことがある。運動して食事制限をする必要があり、努力と我慢をするためにお金を払い、痩せた体を手に入れるという、ちょっと面白いビジネスモデルだと思つた。

自分は、努力するのも我慢するのも嫌いで、食べたい時に食べたいものを食べたいだけ食べる、を信条に生きてきた。昔羽田から小松まで飛行機で帰る際、空港で小さい「ごろやの羊羹」を購入し、乗る前に食べるか小

ビグアナイド系血糖降下薬とSGLT2阻害薬の2剤を内服していたが、HbA1cは全く下がらなかつた。薬を飲んで、少し検査の数値が良くなる、食べる量が増えることが原因だった。6月のとある学会で友人達と食事をしながら、俺は今食事に気を付けていて、次の採血でHbA1cが下がらなかつたら、食欲が無くなる注射を打たれちゃう」と笑いながら話をしていた。自分としては節制して努力していたので、7月の採血では下がって当たり前と考えていたが、検査結果を見ると、何と前回より上がった。ちょっと衝撃を受けた。あれほど努力したのに、と考えていると、主治医に「注射、どうしますか？」と聞かれた。注射は痛いから嫌だし、怖いと思つて、だが、これは自己管理のできないダメ人間に対する罰だから受け入れよう、と、翌日から自己注射することに決めた。



## スマホ・パソコンでお手続きはカンタン!!

### 日本医師会 医師年金

Step 1 アニメーションで仕組みを確認

Step 2 シミュレーションで保険料を試算

Step 3 一括払専用加入申込書プリントアウトで申込み  
(保険料のお支払いは後日ご案内します)

20220401S24

公益社団法人 日本医師会 年金福祉課 TEL:03-3942-6487 (平日 午前9時30分~午後5時) 医師年金ホームページ 医師年金 検索 <https://nenkin.med.or.jp>

# 第31回日本臨床分科医会代表者会議

## 各医会の現状や課題等について意見交換



第31回日本臨床分科医会代表者会議が10月31日、都内で開催され、日本医師会から今村英仁常任理事が出席し、伊藤隆一（日本小児科医会会長）を始め、出席した各会の代表者らと意見を交わした。

冒頭、あいさつした今村常任理事は、薬価問題について言及。薬価引き下げによる薬の供給不足や海外製薬会社の日本市場からの撤退などの課題

を指摘した他、スイッチOTC化についての日本医師会の考え方を説明し、関係学会・医会に対して候補成分に関する意見聴取への協力を求めた。

続いて、日本医師会事務局より、厚生労働省「医療用から要指導・一般用への転用に関する評価検討会議」の目的等について説明し、「OTC化候補成分に対する医会の見解を提出する際には、賛否を明確に記載して欲しい」と要望した。

続いて、13の医会から、各会での取り組みや現状、課題等について発表がなされた。

白根雅子日本眼科医会会長は、子どもの近視問題について触れ、文部科学省主導の3年間にわたる全国調査で、休み時間によく外で遊ぶ子どもが近視になりにくいという結果が示されたことを踏まえ、文科省が作成した近視に関する子ども向けの注意喚起冊子には、従来からある「明るい部屋で」「近くで」「見ない」「時々きゅうけい」に加え、「できるだけ外で遊ぶ」「という文言が追加されたことを報告した。

万代恭嗣日本臨床外科学会会長は、学会の二つの主軸である学会開催と若手外科医のためのセミナー開催について説明。セミナーは40歳以下の次世代の外科医を対象に、全国から100〜130名を集めて毎年開催しているが、外科医を志望する医師が減少していることを受けて、若手外科医の育成と確保に向けてセミナーの内容を改善し、世界で活躍する若手外科医の発表を取り入れるなどの工夫をしていることを紹介した。

石渡勇日本産婦人科医会長は、会員にHPVワクチンの接種推進への協力を積極的に呼び掛けていることを報告。同ワクチンの接種率低下により、日本の子宮頸がん発症率が増加傾向にあることを懸念しているとした上で、ワクチン接種と検診を徹底することで、2070年までに子宮頸がんを撲滅できる可能性があるというWHOの試算結果を基に、本会議参加の他科の医会にもHPVワクチン接種推進への協力を求めた。

川島良明日本臨床耳鼻咽喉科医会長は、日本の難聴自覚率が他国と同程度（約10%）であるにもかかわらず、受診率や補聴器使用率が低いことを指摘。ACジャパンを通じて難聴啓発キャンペーンについて報告するとともに、より恒久的な運動として、必要に応じて補聴器の使用を推奨し、80歳で30デシベルの聴力を目指す「聞こえ8030運動」を展開していることを報告した。

佐藤好範日本小児科医会副会長は、日本の出生率が過去のベビーブーム時の3分の1以下に減少していることに触れた上で、「伴走型子育て支援の実現」「会員の育成」などに取り組んできたことを説明。また、災害等での心の傷を受けた子ども達の行動を理解し、早期に適切な対応ができるよう、冊子『子どもの心のケアのために』を作成し、1月の能登半島地震の際に、地域の小児科医を通じて子ども達の保護者に配布したことを報告した。

長谷川利雄日本臨床整形外科学会理事長は、医薬品の供給不足問題について、局所麻酔薬の供給不足が整形外科医療に大きな影響を与えているため、厚労省医政局長宛てに局所麻酔薬の安定供給を求める要望書を提出する考えを表明。また、局所麻酔薬が他科でも使用される薬剤であることから、各医会代表者との連携で提出することを提案し、協力を求めた。

三木和平日本精神神経科診療所協会は、日本外来精神医学会を設立し、9月に第1回学術講演会を開催したことを報告。一方で、急激な精神疾患患者数の増加やチェインクリニックの急増などの問題に対しては、認定医を増やして対応していく姿勢を示した。

清原久和日本院床泌尿器科医会長は、医会内で行った働き方改革に関するアンケート結果を発表。約50%の回答者が「大きな変化は無い」と回答し、40%が「困っていない」と回答している一方、「個別の回答では、医療機関規模に応じた課題が浮き彫りになっていることを説明した他、会員獲得のための新しい取り組みとして、AIを活用したチャットボットの開

発について報告した。

江藤隆史日本臨床皮膚科医会長は、被災地支援において、被災地における専門領域の医療ニーズを明確に把握することができるとあれば、日本医師会災害医療チーム（JMAT）本部が都道府県医師会を通さずに各医会へ派遣要請を行い、被災者に寄り添った医療支援ができるのではないかと提案。また、診療報酬に関しては日本医師会とも協力し、会員へ「外来・在宅ベースアップ評価料」算定の周知を行っていることを報告した。

山田恵日本放射線科専門医会・医会理事長は、創立50周年記念事業の一環として行われた有識者へのインタビュー記事に

ついて説明。専門医の数よりもクリニックが多い現状を指摘し、特に放射線科や病理など特定の領域での自由開業について問題提起した。

菅原正弘日本臨床内科医会長は、日本内科学会と共同で本年から7月1日を「内科の日」に制定したことを発表し、今後の事業内容については検討中であるとした。

また、診療報酬改定に

関しては、「かかりつけ医機能」「医療DX関連」に関する加算等について説明した上で、今後の課題として事務作業や設備等の経済的負担の増加を挙げた。

江藤隆史日本臨床皮膚科医会長は、被災地支援において、被災地における専門領域の医療ニーズを明確に把握することができるとあれば、日本医師会災害医療チーム（JMAT）本部が都道府県医師会を通さずに各医会へ派遣要請を行い、被災者に寄り添った医療支援ができるのではないかと提案。また、診療報酬に関しては日本医師会とも協力し、会員へ「外来・在宅ベースアップ評価料」算定の周知を行っていることを報告した。

山田恵日本放射線科専門医会・医会理事長は、創立50周年記念事業の一環として行われた有識者へのインタビュー記事に

ついて説明。専門医の数よりもクリニックが多い現状を指摘し、特に放射線科や病理など特定の領域での自由開業について問題提起した。

菅原正弘日本臨床内科医会長は、日本内科学会と共同で本年から7月1日を「内科の日」に制定したことを発表し、今後の事業内容については検討中であるとした。



## 日本臨床分科医会代表者会議 所属医会の活動⑦

※活動の詳細は各会のホームページをご覧ください。

## 日本放射線科専門医会・医会

## ●力を入れていること：専門医数の増加

日本放射線科専門医会・医会（以下、JCR）のミッションは「放射線医療の発展を通して国民の健康と福祉に貢献する」です。しかし、このミッションを完遂するには人数が圧倒的に不足しています。方策の一つとして診療放射線技師に画像の一次スクリーニングを付託する動きが出てきました。この業務の概念としてはナース・プラクティショナーのそれに近いものです。

かたや専門医の不足は何も放射線科に限ったことではありません。他の分野でも同様に不足しています。これは医師数の不足を意味するのでしょうか？ 大局的に見ると、どうも違うようです。なぜなら、政府は医学部の定員を縮小する方向に転じているからです。ではなぜ、このような一見すると逆向きの動きが生じるのでしょうか？

専門医不足の原因は「各領域の専門医が計画的に育成されていない」というところにあります。実は日本は国際的に見ても、かなり異質な医療政策上の方策をとっており、それは「どの診療科を選んでも自由」という放任主義です。これは自由標榜制とも共通する概念です<sup>[1]</sup>。

通常、先進国では専門医数の上限が定められており、それを介して医療費の高騰を抑えています。コントロールの方法は三つあり、第一に政府が介入する方法（アジアに多い）、医師会によるコントロール（西洋に多い）、そして学会によるコントロール（米国）です。そのいずれも行っていないのが日本です。

JCRはこういった対応に対し異議を唱えています。しかし、この考え方には根強い反対もあり、引き合いに出されるのが「憲法22条（職業選択の自由）に反する」というものです。しかし、これは憲法解釈の誤りだということを『日医雑誌6月号』に載せました<sup>[2]</sup>。

JCRはこのように専門医制度の将来について議論を深める場所となっています。

## 参考文献

1. What Has Caused the Shortage of Radiologists? Korean J Radiol. 2023; 24: 933-935.
2. 専門医制度に関する一考察. 日医雑誌2024年. 153巻・3号. 310



## 日本麻酔科医会連合

日本麻酔科医会連合は2021年に設立された新しい医会です。麻酔科での開業は少ないので、大学教授や大病院の責任者からなる地区麻酔科医会や麻酔関連学会が主な会員です。内部組織がまだ小さく、組織の充実に力を注いでいます。

本会の目的は、日本麻酔科学会関連で起きている手術件数の倍増、集中治療・ペインクリニック・緩和医療などへの麻酔科医の領域拡大によるマンパワー不足とタスクシフト、働き方改革等の問題点を、関連学会のリーダーの方々、行政などと正しく情報を共有することにあります。

近年、麻酔科医は増えたとされていますが、比率としては伸びても、絶対数が小さいため増加数も小さく、需要に追いついていないというのが肌感覚であります。

初期研修制度、新専門医制度、臨床研究法、医師の働き方改革など、一連の制度改革が行われてきましたが、この間に生じた研究力の低下に加え、日本の医薬品の輸入超過は3兆円を超えています。

また、医師の働き方改革では、教育・研究時間の制限や研究機関からの離職が懸念されている一方、医療の高度化や新しい技術は新たな分野を発生させ、医療ないしは多種多様な高度技術を有する医療人材に対する需要の増加を招いており、この傾向は今後も続くと思われま

す。麻酔科領域でもこれらの現象は起きており、特に医療の高度化は、麻酔科医の需要を増やしてきました。更に、研究力の低下は、日本麻酔科学会にとっては大きな課題となっています。

一連の制度改革が完了した今、失ったものを取り戻す時期と考えています。教育や研究・開発の基本は「人」と「人を育む体制」が重要となります。

日本麻酔科医会連合では、時間が掛かりますが若い医師に希望のもてる体制づくりと、人材の育成に力点を置きたいと考えており、日本医師会にはその支援をお願いしたいと考えています。



# 「日本医師会 赤ひげ大賞」拡大企画 特別番組「赤ひげのいるまち」を 公式YouTubeチャンネルで公開中

日本医師会ではこのほど、「日本医師会 赤ひげ大賞」の拡大企画として、特別番組「赤ひげのいるまち」を制作しローカルテレビ局で放映するとともに、その再編集版を日本医師会公式YouTubeチャンネルに掲載しています。

本番組は、赤ひげ大賞の事業を活用し、都道府県医師会並びにローカルテレビ局、太陽生命保険株式会社のご協力の下、地域住民に地域医療の課題を知ってもらうとともに、地域医療に関心をもつ医学生を一人でも多く増やすことを目的としており、今年度は、和歌山並びに沖縄両県医師会のご協力の下、2本の番組を制作しました。

和歌山県編では和歌山県立医科大学の学生が、第12回の赤ひげ功労賞受賞者で、自らの足で複数の医療機関を駆け巡り、白浜町の住民の生命と健康を守っている松尾晃次先生を、沖縄県編では琉球大学の学生が、同じく赤ひげ功労賞受賞者で、県外から移住し、村に一つしか診療所がない頃から30年以上にわたり読谷村の医療を守ってきた松嶋顕介先生をそれぞれ訪問し、地域医療の素晴らしさを学んでいる模様。他、平石英三和歌山県医師会会長、田名毅沖縄県医師会会長と両県が抱える医療課題等について意見交換している様子などが盛り込まれた番組となっています。

ぜひ、ご覧頂くとともに、本番組の周知にご協力をお願いいたします。



和歌山県編



沖縄県編



## 会員とご家族を対象に 映画「はたらく細胞」の 試写会を開催



映画「はたらく細胞」の先行試写会を11月14日、多数の応募の中から抽選で選ばれた約400名の参加の下、日本医師会館大講堂で開催した。

本映画は、人間の細胞を擬人化した斬新な設定で話題を集め、テレビアニメ化もされたシリーズ累計発行部数1000万部を超える大人気同名漫画を写真映画化したもので

ある。日本医師会が本映画の後援をしていることから、今回の試写会の開催が実現した。

試写会は黒瀬慶常理事の司会で開会。冒頭あいさつした松本吉郎会長は日本医師会の活動に対する日頃の支援・協力に感謝の意を示した上で、「この試写会が日々多忙を極める先生方の癒しに、また、ご家族へのサービスに、少しでも役立つことができればと考えている。ぜひ、ご覧頂くとともに、本番組の周知にご協力をお願いいたします。」



映画「はたらく細胞」公式ホームページ

試写会は終了となった。会場にはご家族連れの会員も多く、作品に感動して涙を流す学生の他、母親の説明を聞きながら映画を熱心に観賞するお子さんのほほ笑ましい姿なども見られた。

## 案内



### 第30回日本医師会 認定健康スポーツ医制度再研修会

- ◆主催：日本医師会
- ◆後援：厚生労働省（予定）、スポーツ庁（予定）
- ◆日時：令和7年1月19日（日）午前10時～午後4時10分
- ◆開催形式：オンライン開催（日本医師会Web研修システム使用）
- ◆受講資格者：日本医師会認定健康スポーツ医
- ◆受講料：日本医師会員5000円（税込）、日本医師会非会員9000円（税込）
- ◆受講方法：受講者はご自身の端末（スマホでの受講は不可）から、日本医師会Web研修システムに接続し、リアルタイムで動画をご視聴下さい。その際には、講義ごとに、受講ログを記録します。
- ◆また、「視聴コード」を入力頂くことにより、出席確認を行いますので、必ず入力願います。
- ◆申込方法：日本医師会Web研修システムからお申し込み下さい（非会員の一部はGoogleフォームから申し込みとなります）。詳細は日本医師会ホームページ（<https://www.med.or.jp/doctor/doctor>）をご覧ください。
- ◆定員1000名（先着順）
- ◆申込締切：令和7年1月13日（月）午後11時59分。ただし、非会員の一部は1月8日（水）午後11時59分まで。
- ◆主なプログラム：
  - ・講演①：「スポーツに励む女性の健康問題」若年期から大人まで（仮）
  - ・講演②：「ハイパフォーマンススポーツセンター」国立スポーツ科学センター
  - ・講演③：「循環器疾患患者に対する運動療法」
  - ・講演④：「糖尿病患者に対する運動療法」
  - ・講演⑤：「健康スポーツ医の活動の実践」

- ・講演②：「高血圧患者に対する運動療法」
- ・講演③：「糖尿病患者に対する運動療法」
- ・講演④：「循環器疾患患者に対する運動療法」
- ・講演⑤：「健康スポーツ医の活動の実践」

### MAMISに関する問い合わせ先

本年10月30日に公開した医師会会員情報システム（MAMIS）に関する各種のお問い合わせにつきましては下記をご活用願います。

### 医師会会員情報システム運営事務局 （コールセンター）

inquiry@mamis.med.or.jp

0120-110-030

（受付時間：平日10:00～18:00 ※土・日・祝日・年末年始を除く平日）

### 全国国民年金基金 日本医師・従業員支部案内

#### 税優遇の適用に必要な「社会保険料控除証明書」をご確認下さい

国民年金基金の掛金は、全額が社会保険料控除の対象となる税制上の優遇措置が講じられています。この度、本年中に掛金を納付された皆様には「社会保険料控除証明書」を発送しましたので、ご確認ください。

控除証明書は、税控除の適用を受けるための年末調整や確定申告の手続きの際に必要となりますので、大切に保管して下さい。

また、電子交付も可能となっています。社会保険料控除では、生計を同じくするご家族の掛金を実際に負担された方の所得から控除することができ、ご家族の中で所得の多い方が負担された場合、税優遇の効果が大きくなります。ご家族のご加入についても検討下さい。

なお、年金受給者の方への源泉徴収票のお届けは、来年1月中旬頃の手続きです。基金の年金には、公的年金等控除が適用されますので、確定申告時に必要となる源泉徴収票も大切に保管して下さい。

お問い合わせは基金事務局（0120-700650）まで。WEB上でも、資料請求や加入申し込みのお手続きができます。

